

「健康」の歴史研究の試み

東京都立大学 福士由紀

総合地球環境学研究所・歴史研究班は、近現代期の東アジアにおいて、健康がどのように語られ、実践されたのかを（1）健康をめぐる言説の歴史的变化、（2）多様な健康観の葛藤と調整の過程、（3）人びとの暮らしと健康実践との関係、という視角から検討してきた。本報告では、本研究班による研究成果の一部を紹介する。